



あれから...



その行末

ハハ

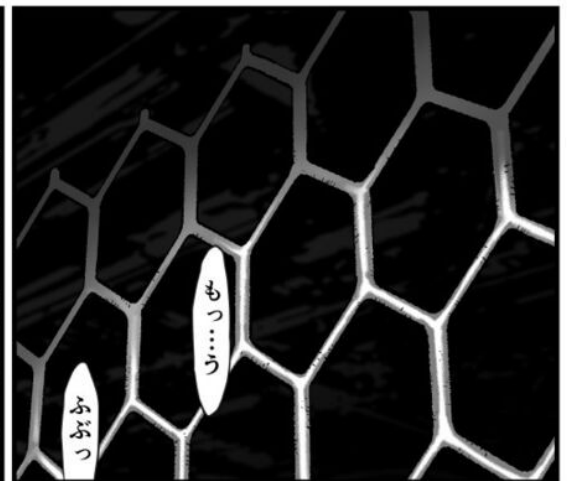
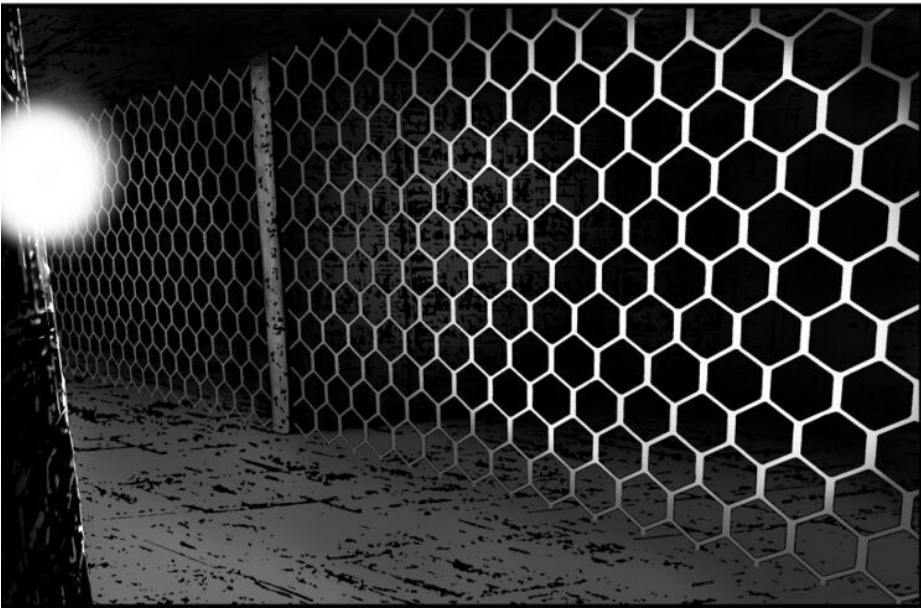
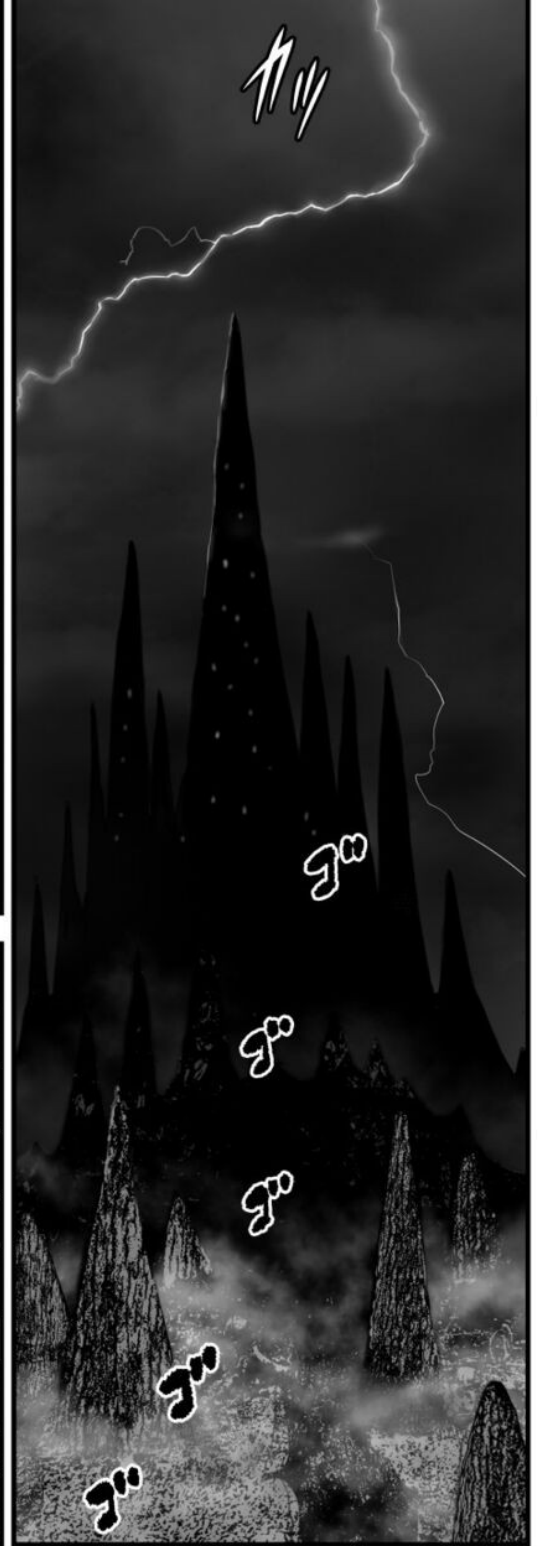


ネトラレ勇者の行末

終章

48P







んっ
んっ
...あれから
どれだけ
経つたん
だろう!



ぬっ
いっ



ああっ
ああっ

ああっ

昼も夜も
分らない



おぶっ
がぼっ



!!



…償い…?

罪を…

終わりのない
無限に続く
償い…



もうやめ…
うぐう



うっ

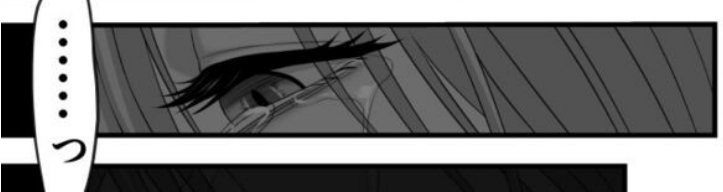
あが



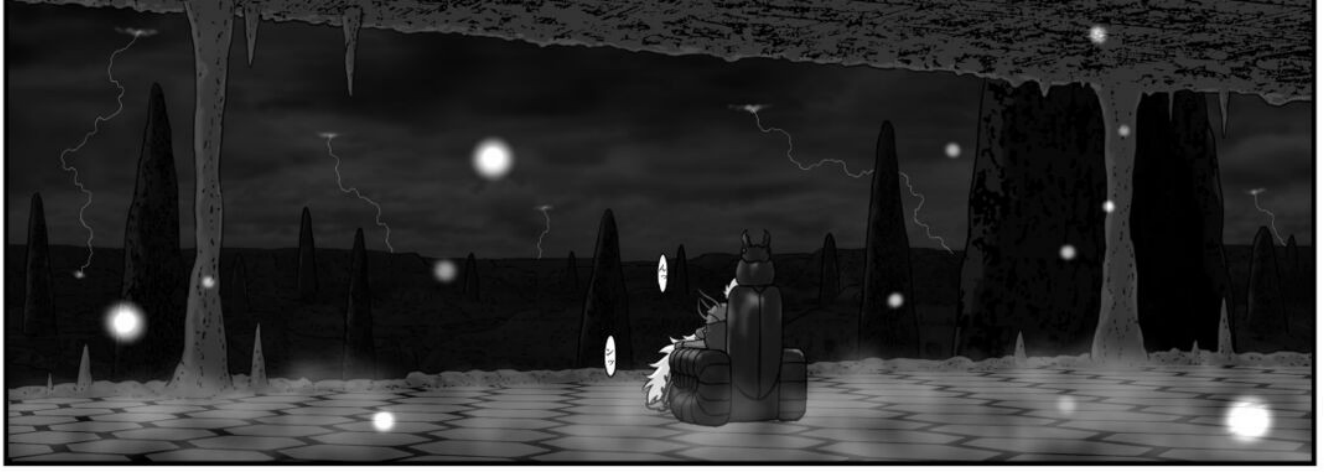
これは…
私のせい…?



ハリーを
傷つけた罰…



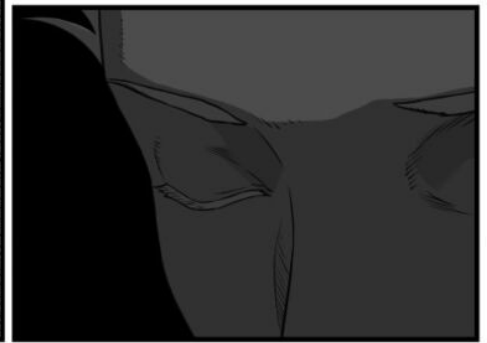
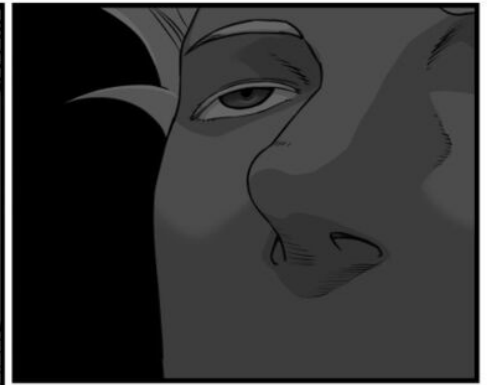




…ルビス

…ん?
なんりや
もうイヒ
ほーか?

よひぞ
ほのまま
出へ…

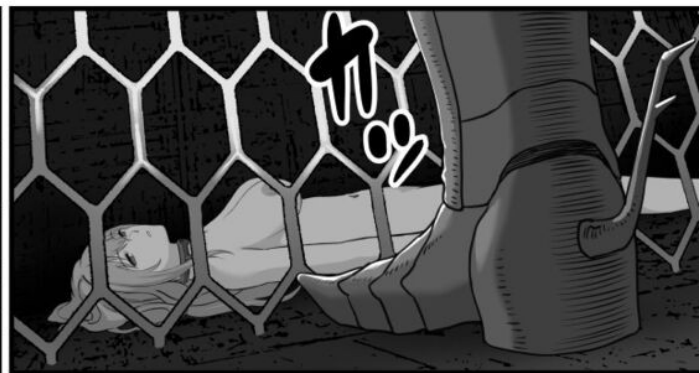
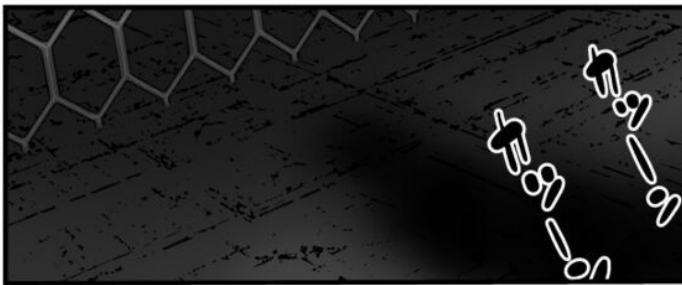
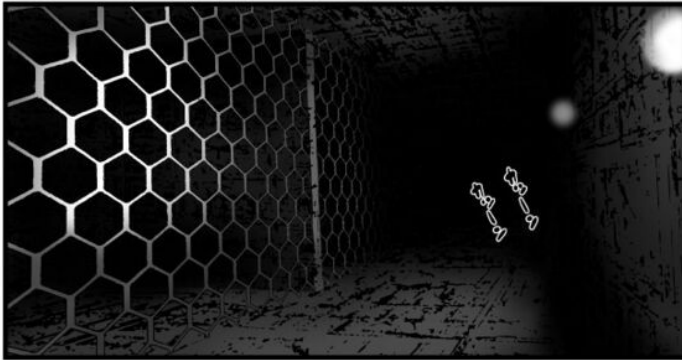


たのたの

頼みが
ある

ごぼっ

……





ハリー…



ふ…

無様だな



…クツ

ハハハハハッ

ハッ

くっ
くっ

本当に…
無様で滑稽
だな



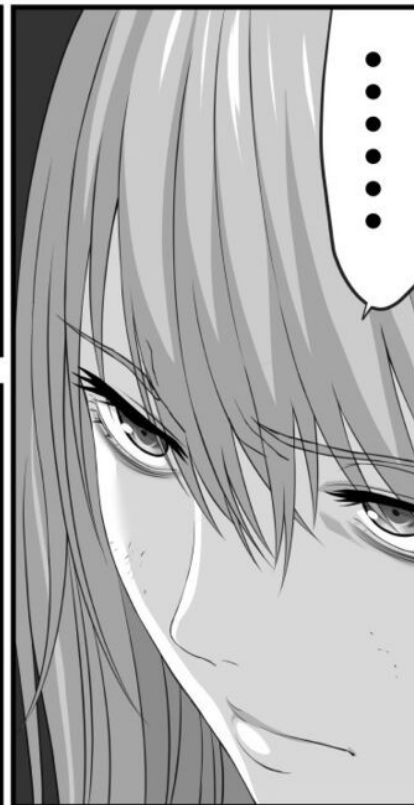
かつては
賢者だの聖女だの
崇め讃えられていた
女が…

今じゃ魔物共の
肉奴隷に
なり果てて
いるんだからな



くくく…
それで
どうだ？

少しは
俺の痛みが
分かったか？



…
…
…
…



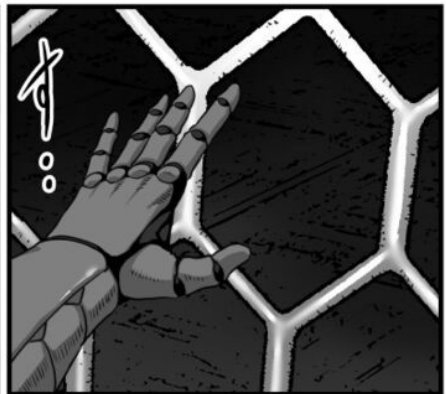
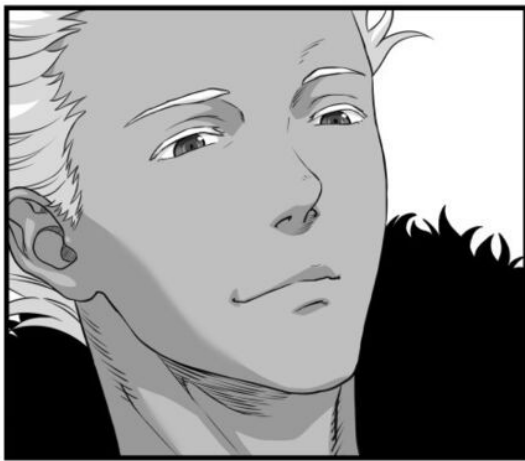
…無駄だ
その魔力封印の
縛めは我が妻の
角より作りし物

今のお前じゃ
はずせはせんよ

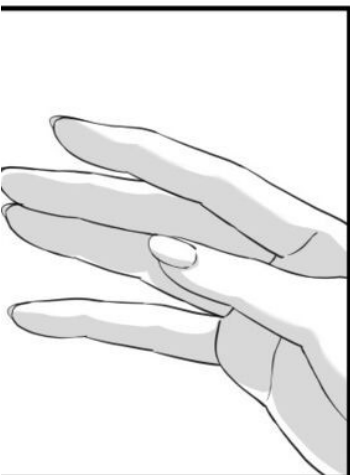


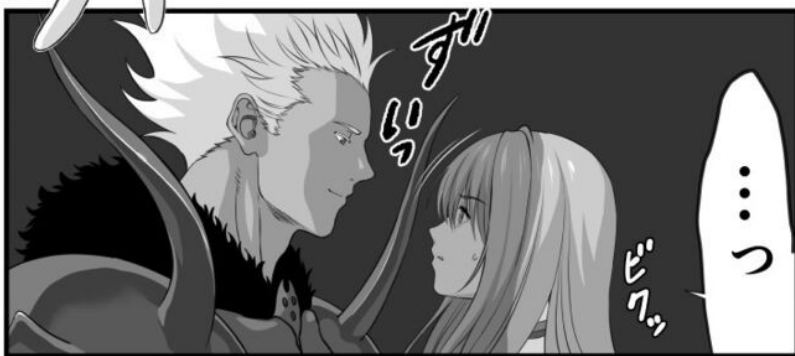
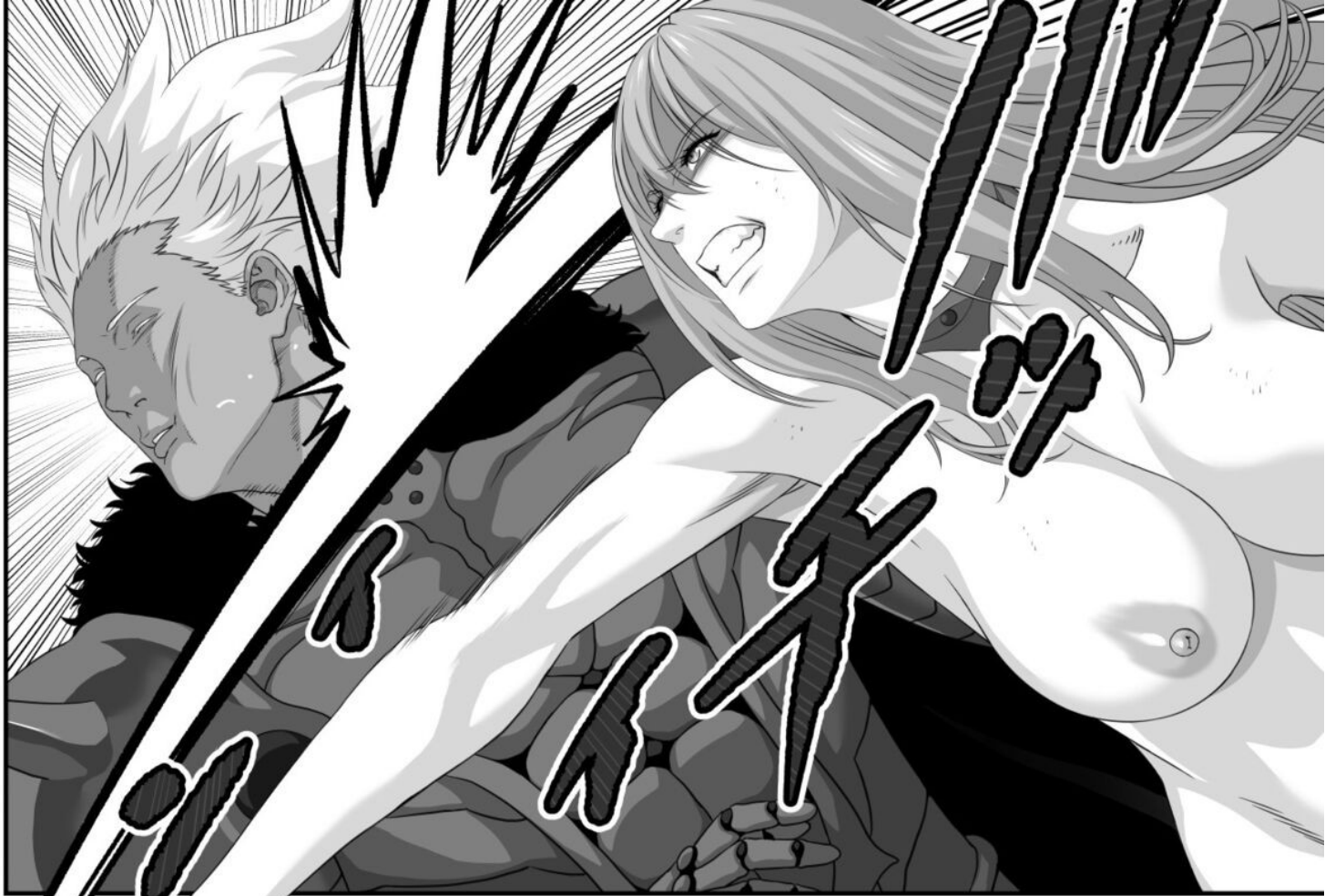


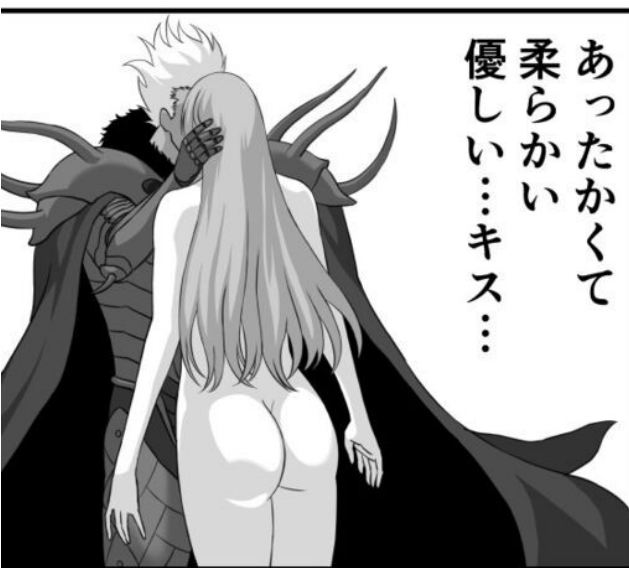
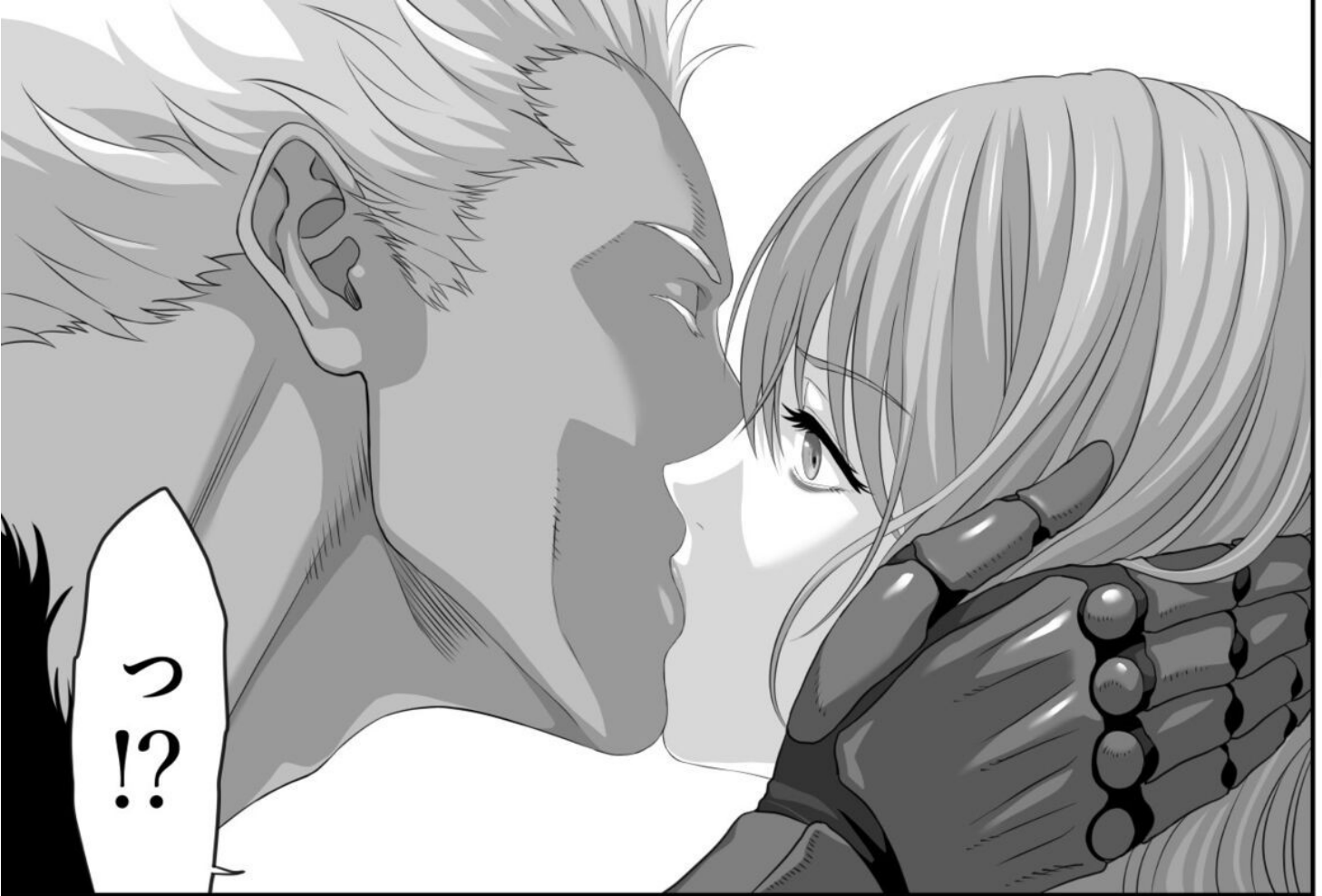
殺しなさいよ!

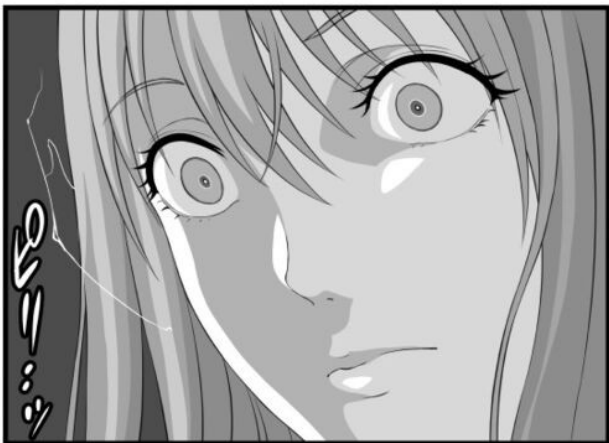


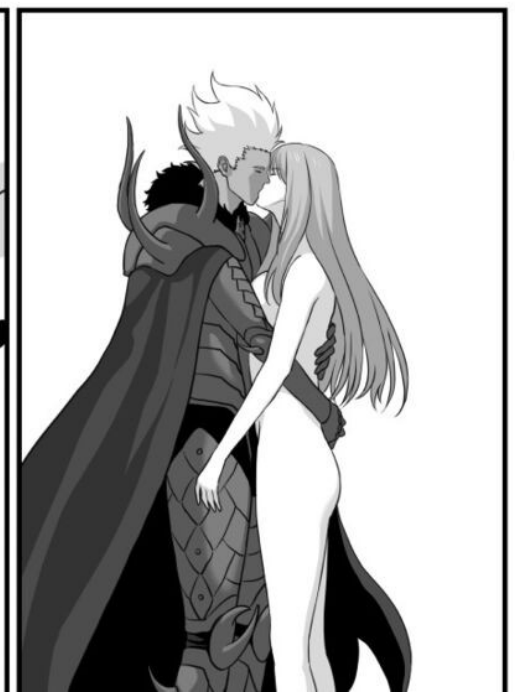
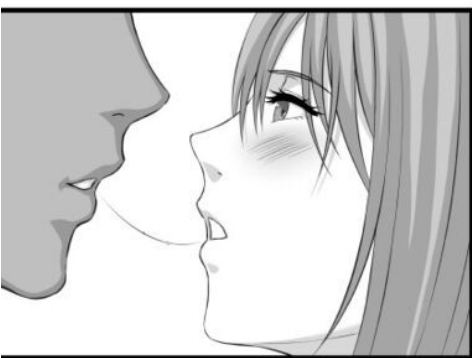
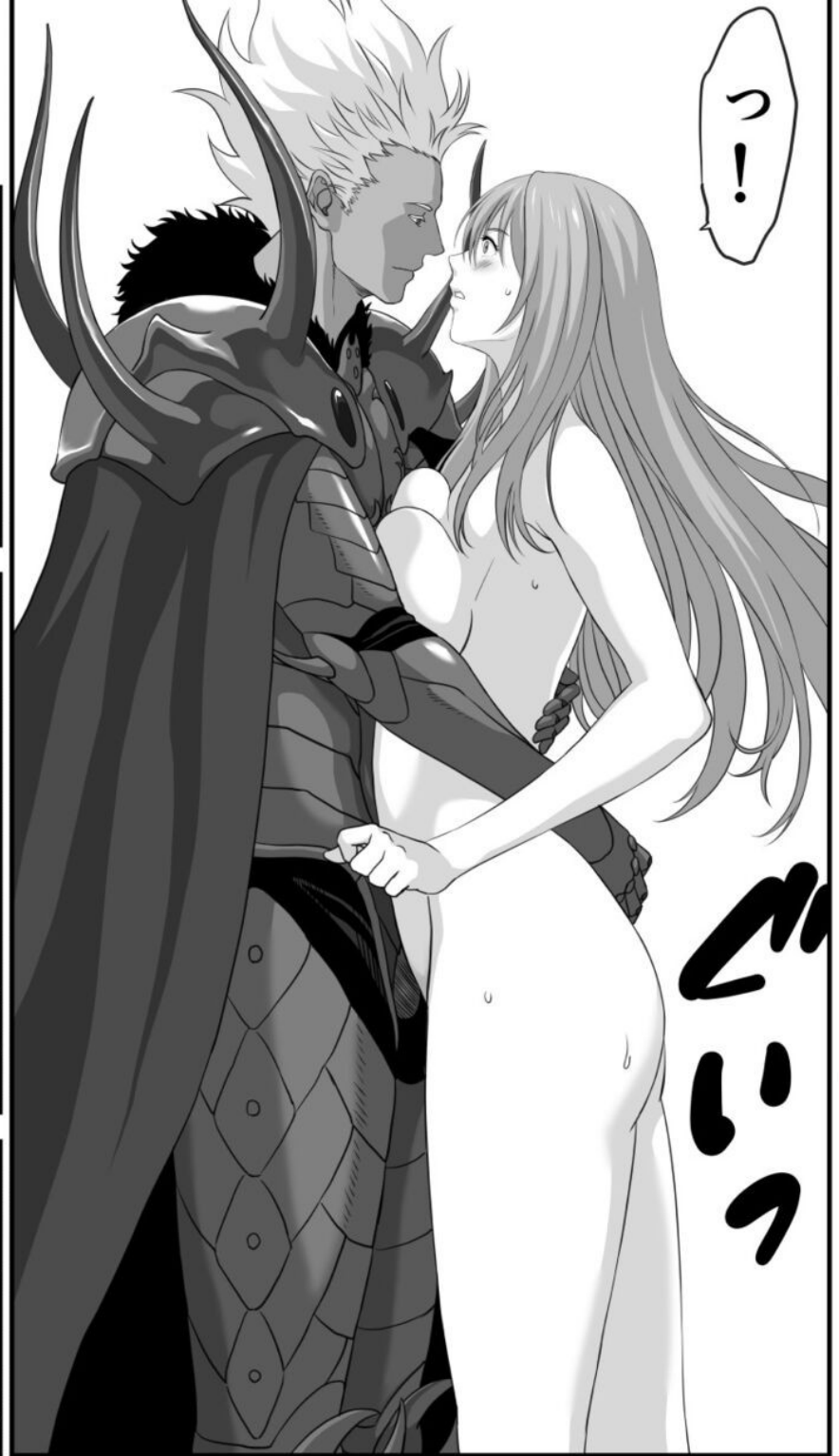
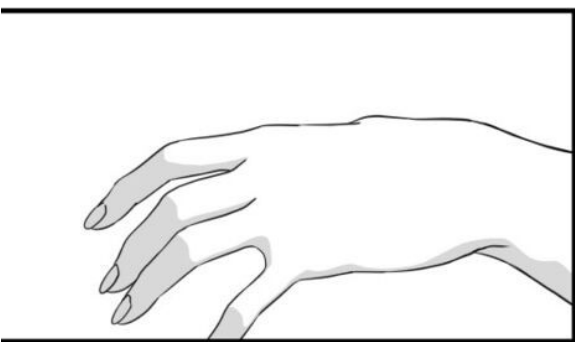


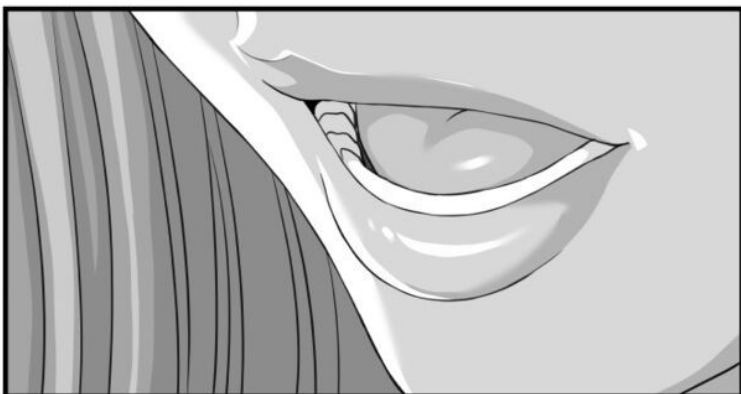
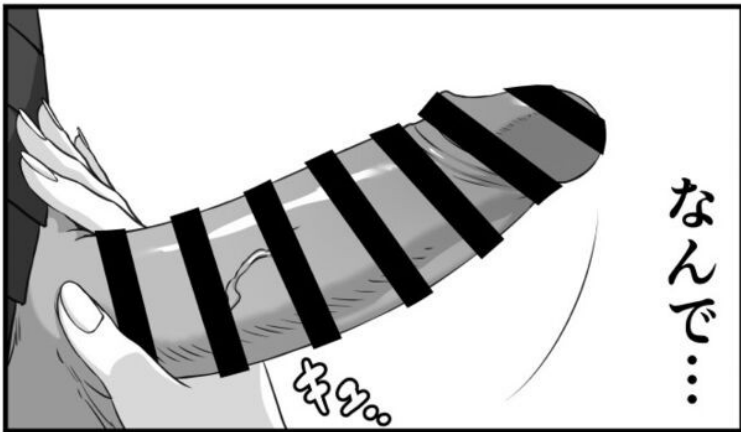


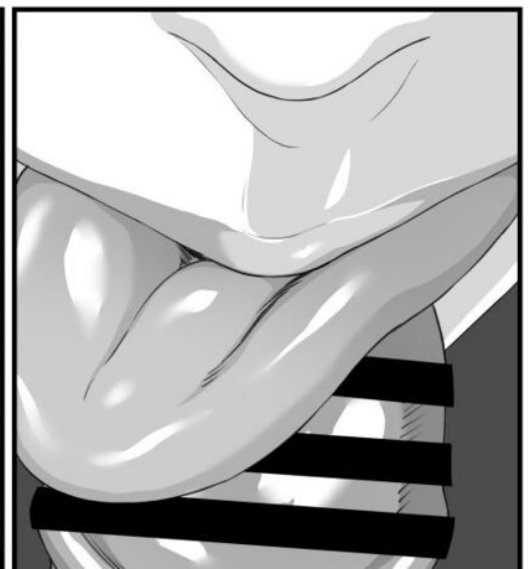
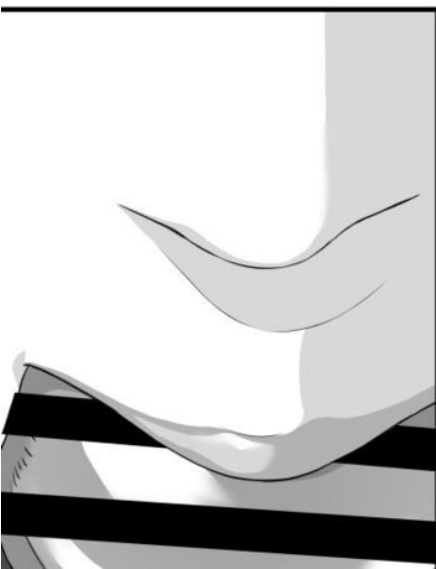


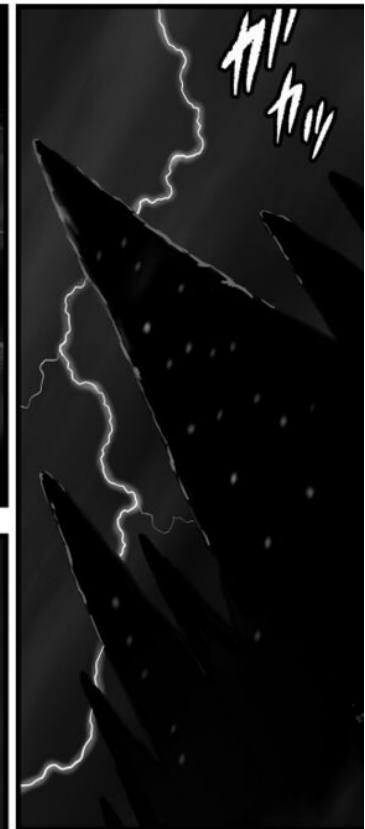
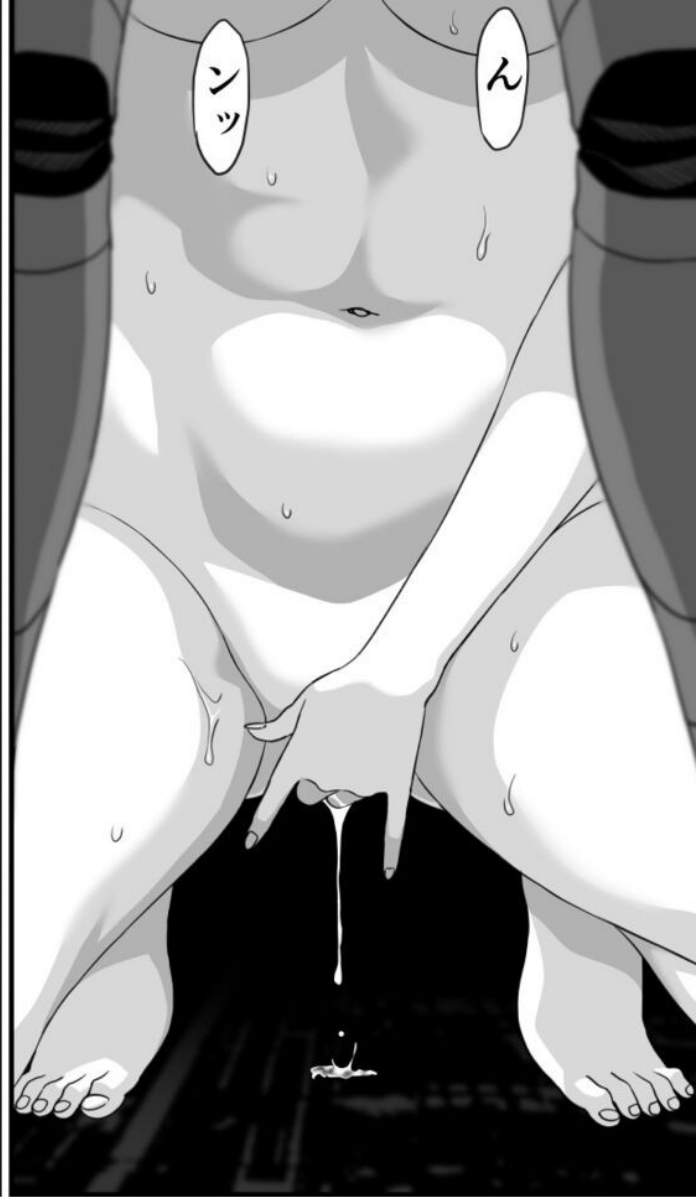




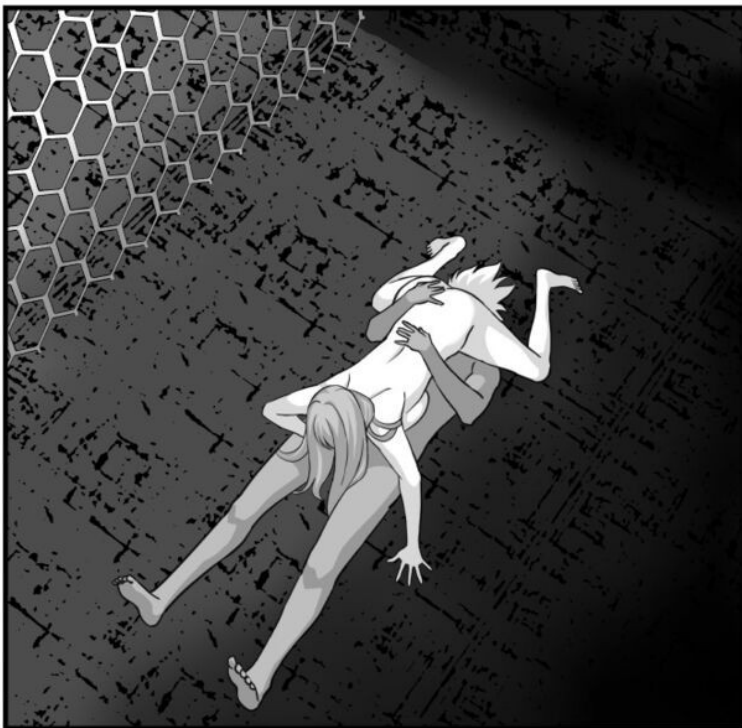
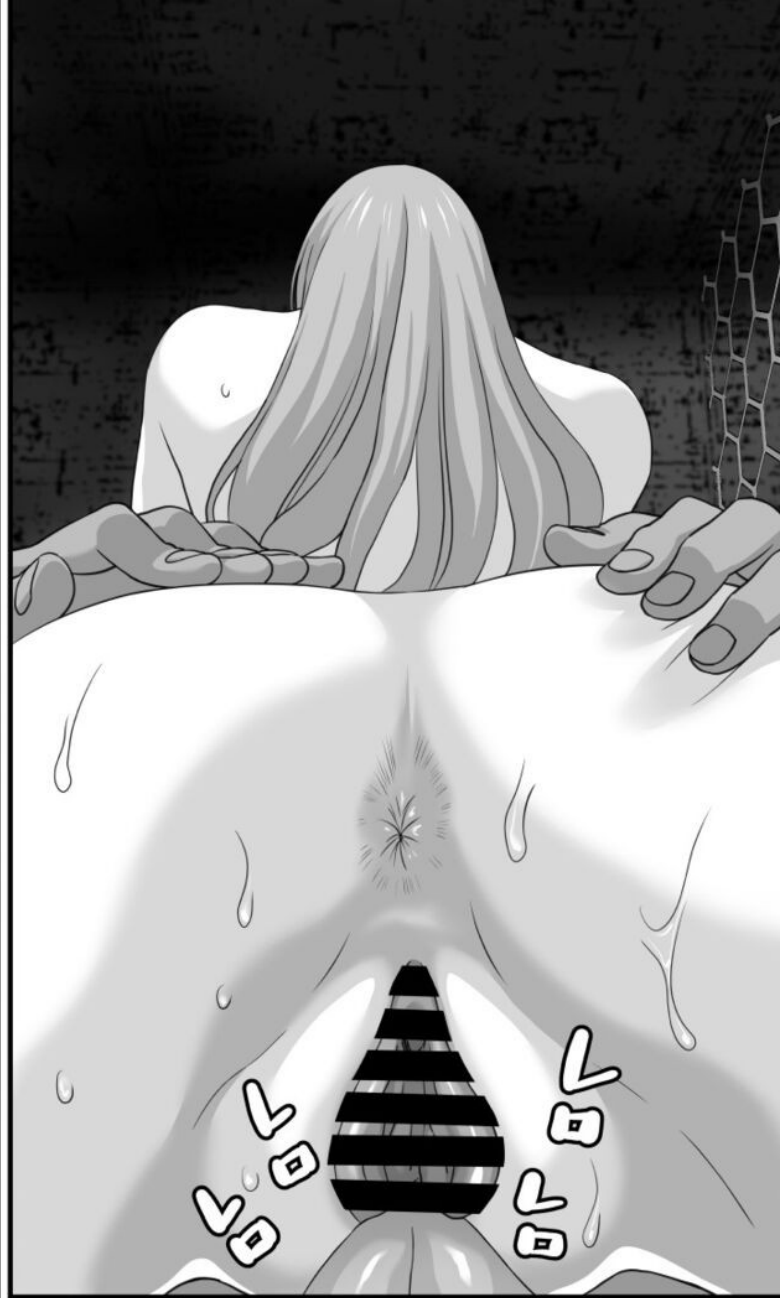






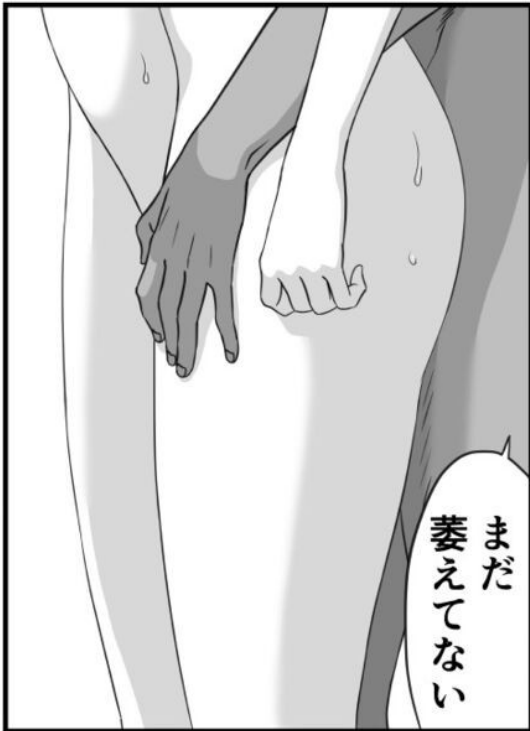








イカせた
わよ…



まだ
萎えてない



ウソツキ…

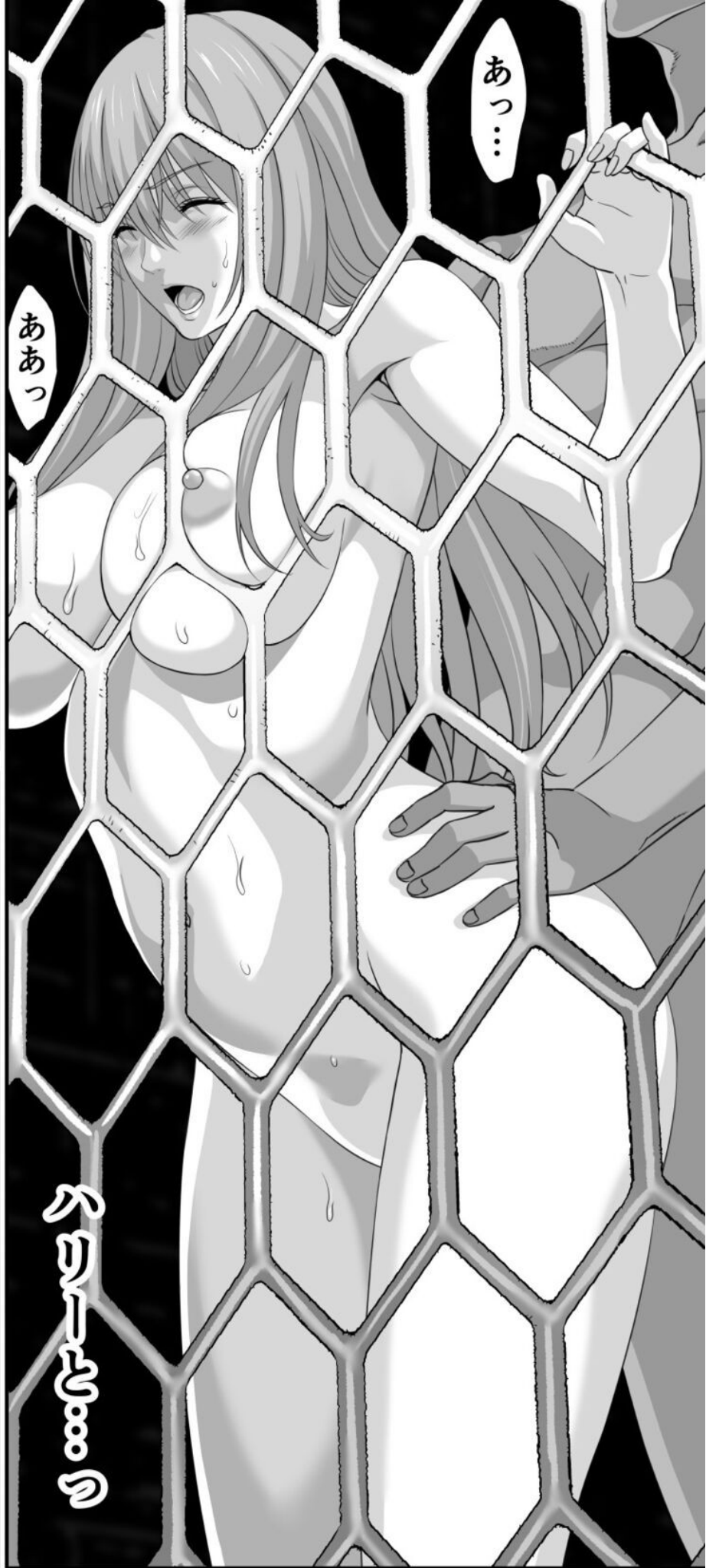
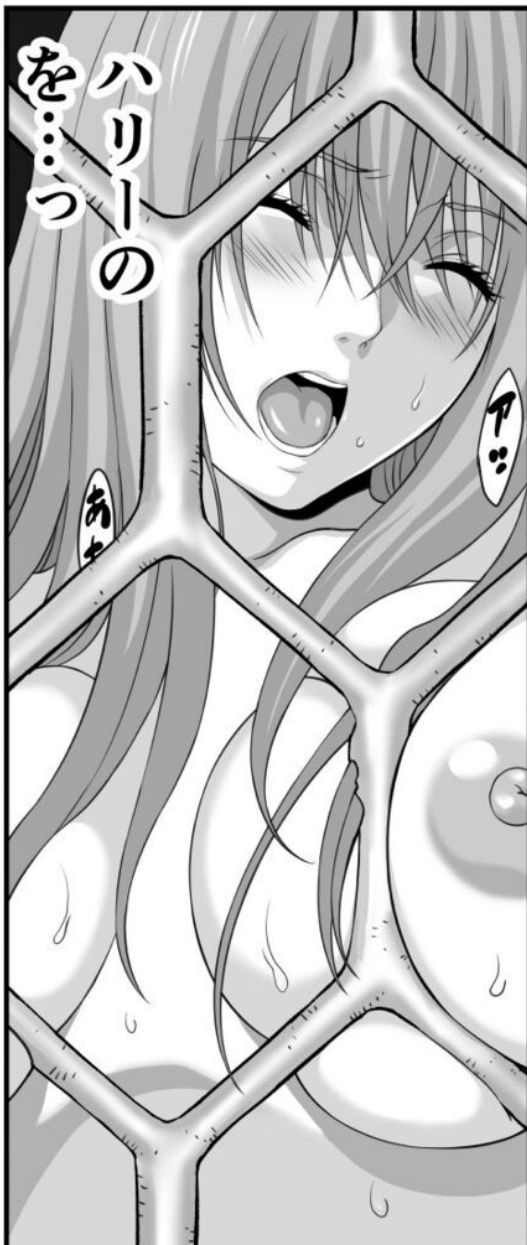


…っ

如

ゴッ







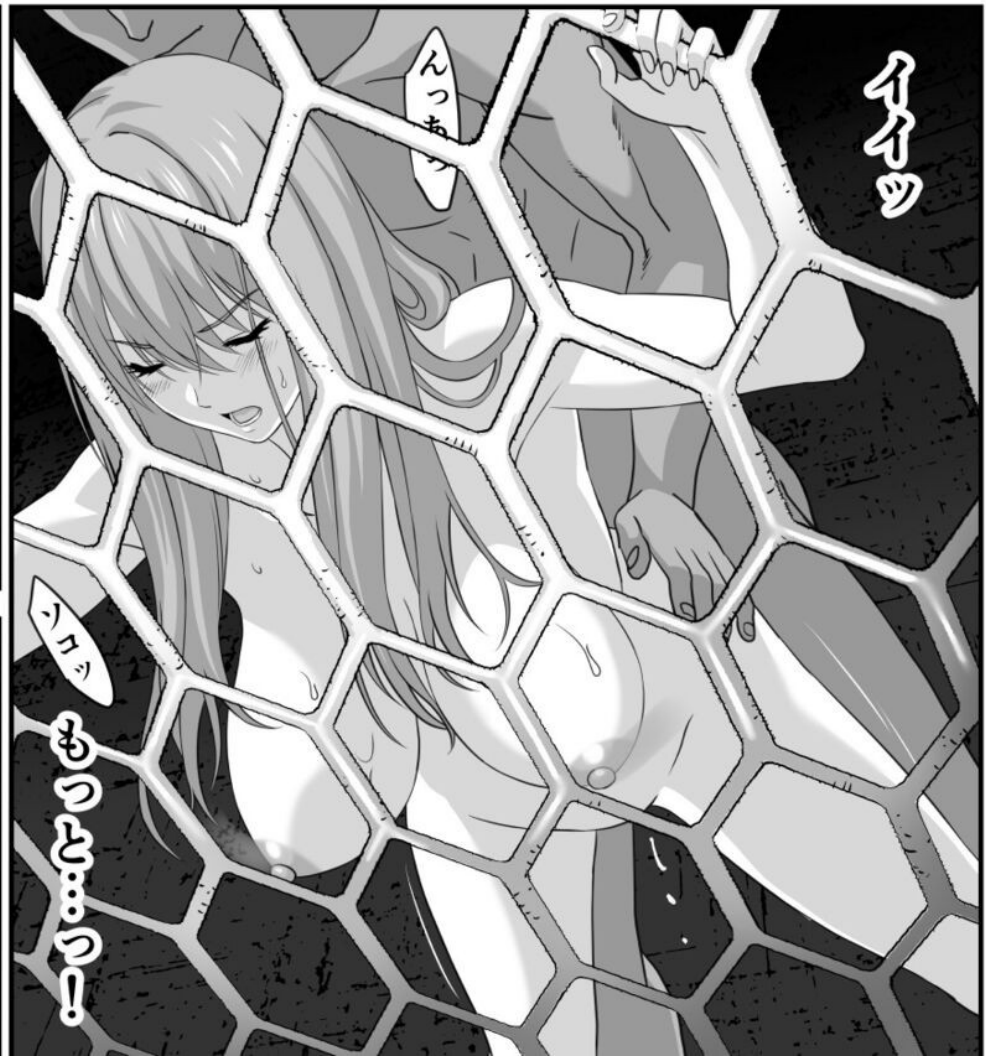
魔物達の
自分の欲望だけで
馬鹿みたいに
強引に出し入れする
だけの動きじゃない...



ちゃんと私のこと
考えて...私を
キモチヨクすることを
考えてくれる...

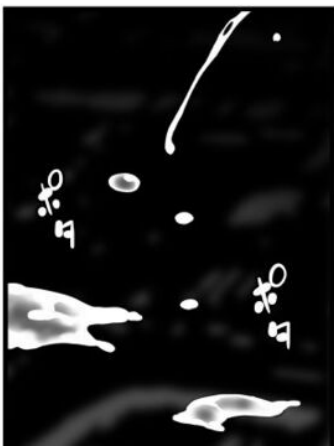


もっとシてっ
ハリーっ!



イイッ

もっさりっ





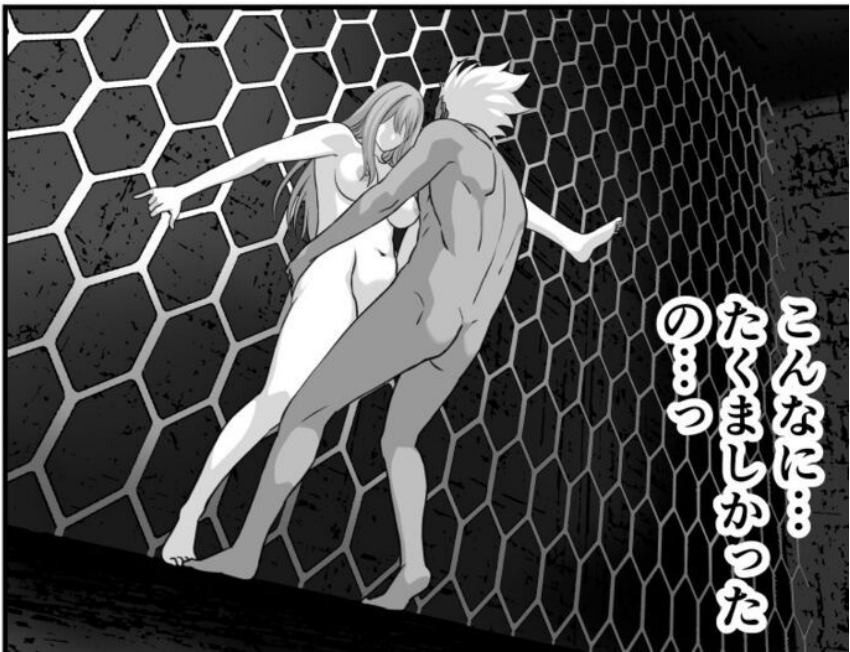
うっアーンツ
スゴ…イ…ツ

ド
ツ
ド
ツ



奥まで…っ

あ
あ
っ



こんなには…
たぐましかつた
の…っ





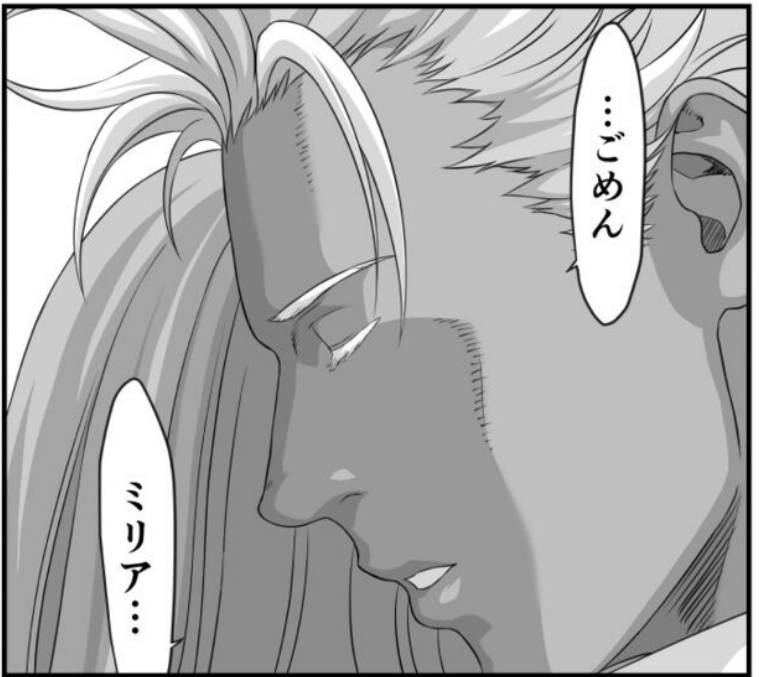
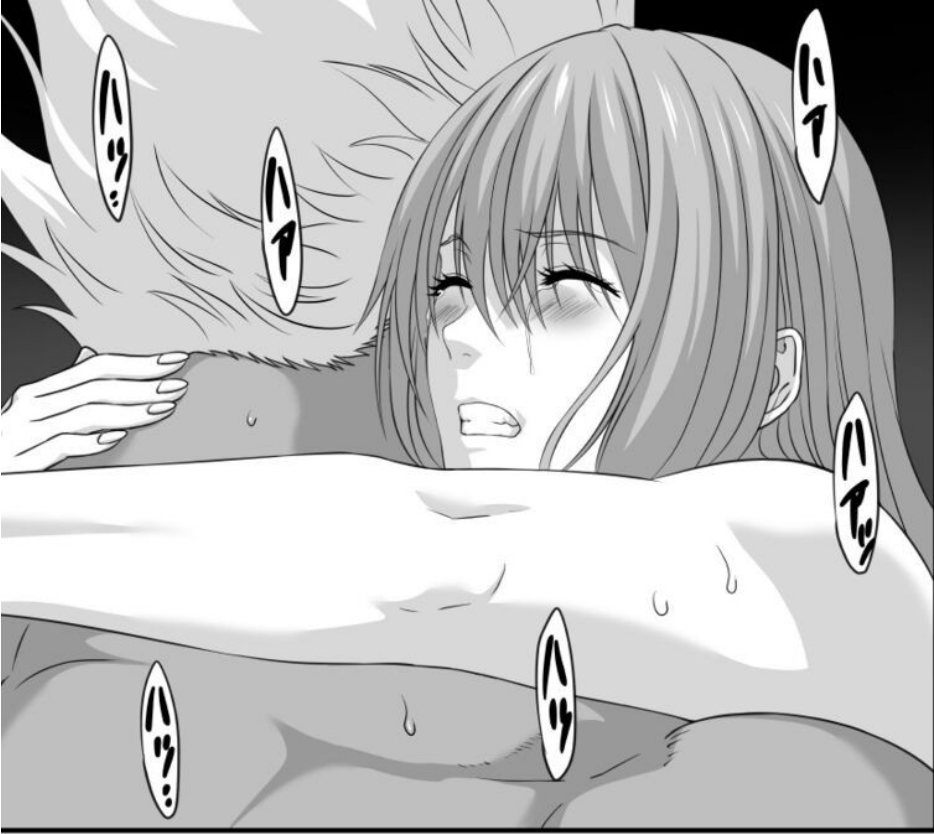
あつ

ああああつ



っ!

あつ



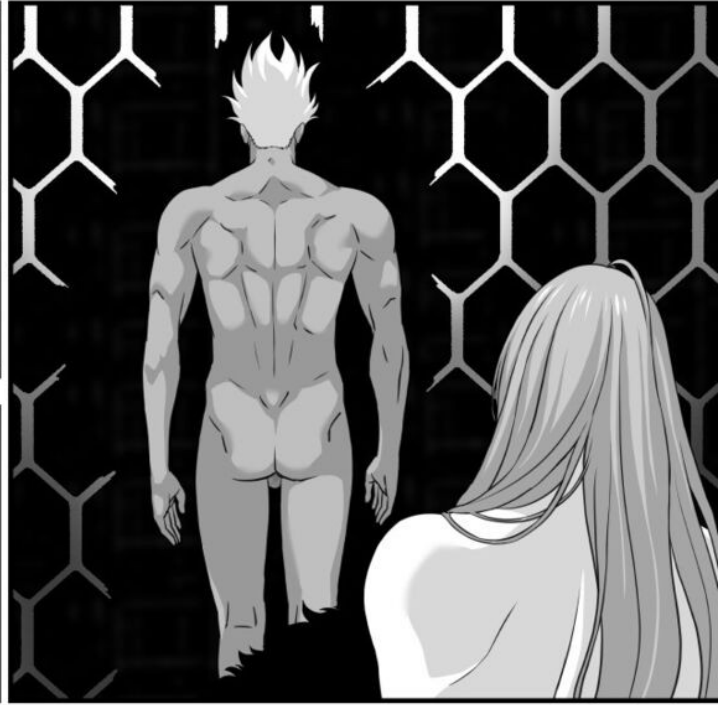


…ん



ハリー…

あ…



…行け

お前はもう
自由だ





あなたは…



ここから一番近い
人里に向かうように
しつけておる



…ここやつに
乗っていくがよい



…
あの…

ハ…



わらわは…
今すぐにでも

お前を
八つ裂きにして
やりたい…っ！



黙れっ！！

疾く去ね
小娘っ！！



それをすれば
主様は…ハリーは
わらわを決して
赦しはしない
だろう

だが…



まったく…酷な
頼みをしてくれる
ものじゃ

できぬ…!



……



…ええ

ありがとう



…ふ
その生き
長らえた命

せいぜい
謳歌するが
よい

クク





行ったか

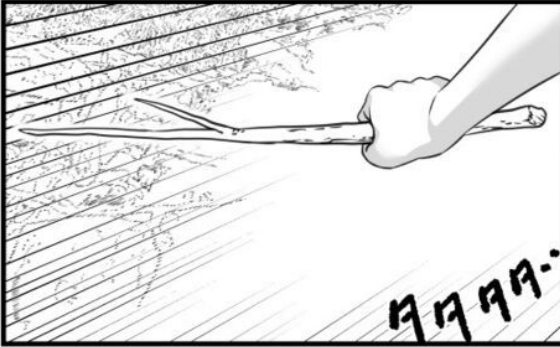


ルビス

すまな
かったな









あらあら
もう…

またこんなに
すり傷だらけに
なって…

ほら
じっとして

治して
あげるから



だって僕は
おっきくなったら

魔王を倒す
勇者になる男
なんだからっ!!



へっちらだよ
こんなもの

だって
僕はさ…

ん?



お母さん
聞き飽きたん
だけど?

ホンキだよ僕っ
ゼツタイなって
みせるんだから!!

ハイハイ



…もう



また
それ…?



主様 見よ見よ！
主様っ！ わらわの
この姿！

なぜだか
分からぬが
突然全盛期に
戻ったぞ！！

うおっ

一瞬
誰かと…



んっふっ
ふっふっ♡ この姿なら
老いたわらわでは
できなかつたあゝ
アレやコレをオ
主様にシて
あげることが
できるぞ♡

ほおくれ
おっばい
じゃあ♡

覚悟せえよ

今宵は
寝かさぬ
からな♡



あー…
ごめん
ルビス

その…
お前のおかげ
…でき



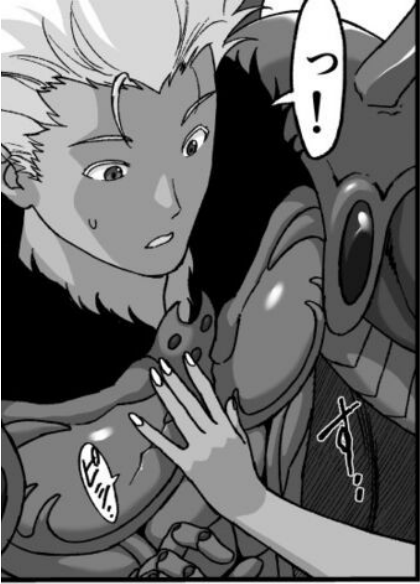
このロ●コン
めがっ！！

いやだから
お前のせい
だって



俺…色んな意味で
「小さい」のに…
目覚めた…
みたいでさ

だから…その
「デカイ」のは
もうあんまり…



っ!



だから泣くのはカンベンしてくれ!



ちよっ... 分かった!

俺が!俺が悪かった!!



こんな無粋なモノはとつとと脱いで!

ならばわらわを今すぐ! 慰めよ

それに前から思ってたんじゃがなんじゃあの肩のダサイトゲトゲは!



うわっ!?



と・に・か・く!

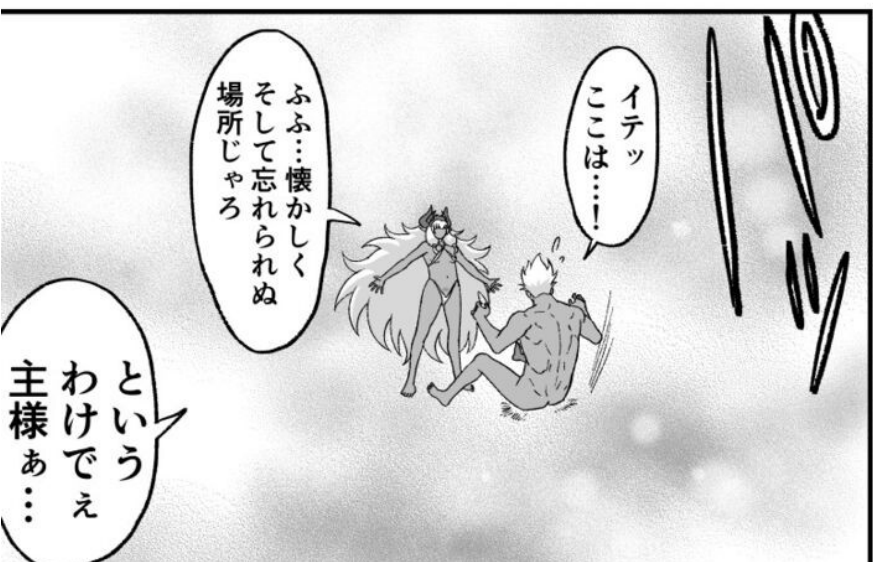


ええっ!? ダサ...ッ!? いや「魔王」といえばやっぱトゲトゲの付いたゴツい肩パッドだろ! 本当は頭も前のルビスみたいにゴツイツノを付けたかったんだぞ!

いいかツノとドリル男のロマンなん

無関心

...? 何をわけのわからんことを言っておるのだ 邪魔になるだけじゃろ それにどりるってなんだ?



イテッ ここは...!

ふふ...懐かしくそして忘れられぬ場所じゃろ

というわけであ主様あ...



交尾
スケベの
時間じゃ♡



うんうん♪

スケベの
時間じゃああ♡



ムクムクムク



...



この先未来永劫
わらわ以外の雌には
もう絶対に握らせん
からな…っ！

んむ…
おいし♡



ん…ん…
はあ…♡

ガマン汁が
もう出とる…
カワイイのう♡

…主様の
このチンポはっ
わらわだけの
モノじゃ…！！



すべて洗い流して
くれる…っ！

赦せんっ



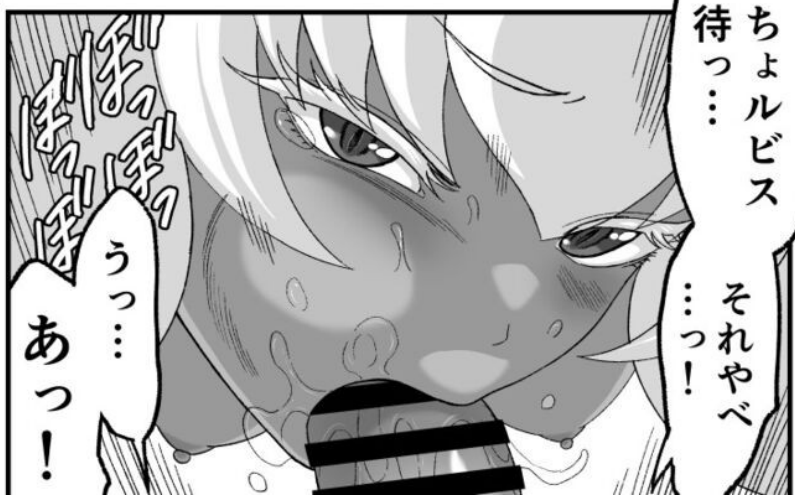
ん…おのれ
わらわの大好きな
ニオイの中に…

あの子の
汁の臭いが
かすかに残って
おる…！



んんんっ♡

心地よい
衝撃じゃ♡



ちよルビス
待っ…

それやべ
…っ！

うっ…
あっ！



今一度… 誰が最初に主様と
思い出すがよい このチンポを

「オトコ」にして
あげたのかを…!



さて主様…
丁度よい
機会じゃ



このわらわの奉仕を
一方的に打ち切って
あの女の元に
いくとはな!

ぬはっ
…しかしまあ
決別のためなどと
ぬかして…



わらわの
マンコに
入ってなあ!

おおっ!
すっ
おおうっ!



一瞬啜っていた
チンポを噛みちぎって
やろうかと思っただぞ!

オオッ
オオッ
オオッ
主様っ!



新たな魔王の
チンポの力は
そんなモノかえ!?



こんなんじや
まだわらわが
魔王を続けて
いた方が
よかったかのう?!

ははははは



ホレホレ
どーした
主様っ!?

もつと気張って
わらわを慰めよ!

なんじやあ
ほちゅって
気の抜けた
効果音はあ?
やる気
あんのかあ!



おっおおっ
いいぞ主様っ

やればできる
じゃないかっ



ぬは...っ!



やっ待って...っ
イクツイキそっ
ヤダヤダヤダウソッ
このわらわが
こんなに早くっ!?



ちよっ...
ぬっ主様っ
聞いている
のかっ!?

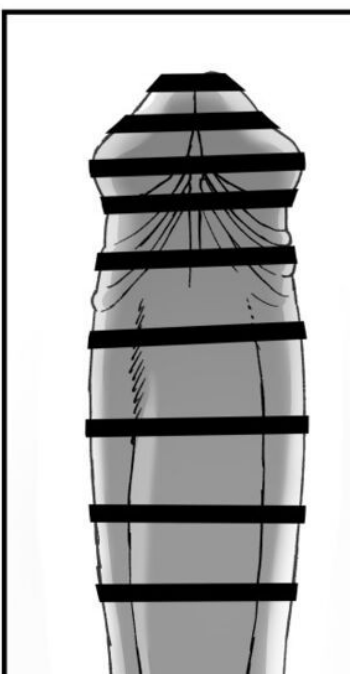
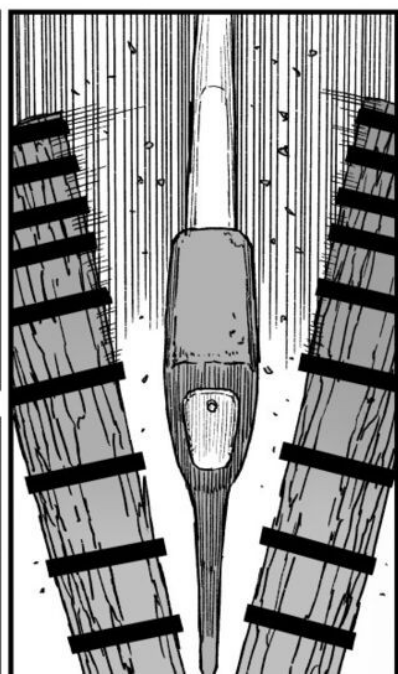
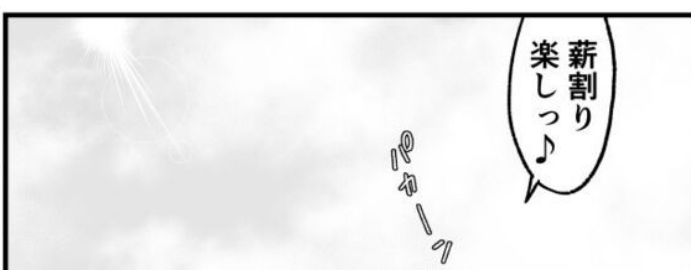
そんなに
だ...め...っ



んっ...あっはっ
いいいいけどっ
もうちよっと...
ゆっくりしても
よい...のだぞっ!?



ははははは
ははははは
ははははは





ご購入ありがとうございました